

「公益的活動を支援するためのアンケート調査」
調査結果

令和5年3月
川西市総合政策部行革推進課

《目次》

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の概要	2
3. 調査結果	3
(参考) アンケート調査票	7

< 1. 調査の概要 >

(1) 調査の目的

団体の減免に対する考え方の確認と減免制度以外の支援策のニーズを調査するために実施

(2) 調査団体、調査方法

令和3年度に減免を受けた団体又は定期的に減免を受けている団体 169 団体に配布し実施 (Web 回答)

(3) 調査期間

令和4年11月1日(火)～令和4年11月11日(金)

(4) 回答結果

回答数 140 団体 回収率 82.8%

< 2. 調査結果の概要 >

1 団体が行う公益的活動の課題について（問1：団体が考える悩みや課題）

「新しい会員が増えない」70.7%、「構成員が高齢化している」58.6%、「活動資金が足りない」44.3%

会員の確保や団体の構成など人員に関する課題があると考えている団体が多く、資金面に関する課題がその次に多い、という結果になりました。

2 団体が市に求める減免制度以外の支援策のニーズについて（問2、問3）

問2：団体が行う公益的活動の活性化につながる市からの支援策

「公益的活動への補助金」34.3%、「担い手育成の支援」18.6%、「公益的活動のPR支援」18.6%

問3：あればいいと思う補助金制度の団体のアイデア※問2で補助金を選択した方のみ回答

「研修」18.9%、「体験会・イベント」17.6%、「大会開催経費」12.2%

補助金による支援のニーズが最も多く、希望する補助金制度は「研修」「体験会・イベント」「大会開催経費」の順に多い、という結果になりました。

3 減免を受けていることと年間の減免金額を知っているかについて（問4：あなたの団体が減免を受けているか、また年間の減免金額を知っていますか）

「減免を受けていることと減免金額の両方を知っている」67.9%、

「減免を受けていることのみ知っている」29.3%、「減免を受けていることと減免金額の両方を知らない」2.9%

自団体が減免を受けていることと減免金額を知っている団体がある一方で、知らない団体もある、という結果になりました。

4 減免を受けた公益的活動と成果に対する団体の考え方について（問8：減免を受けて行った公益的活動とその成果）

「成果が市民全体に還元」55.9%、「成果がわからない」28.7%、「成果が主に自団体に還元（総会、自団体の練習など）」15.4%

約半数は、減免を受けて行った公益的活動の成果が市民全体に還元されているという認識でした。一方で、残りの約半数は成果が不明であったり自団体に還元しているという認識でした。

5 減免実績の公表について（問10：減免をうけたことの公表）

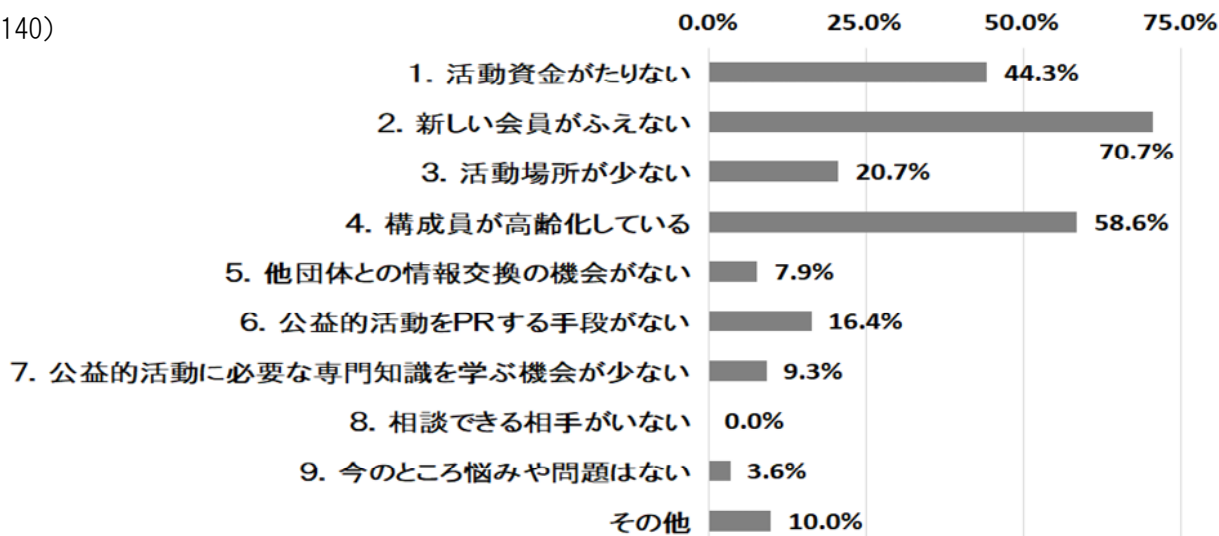
「公表してよいと思う」37.9%、「公表すべきと思う」27.9%、「公表による影響がわからない」25.0%

公表してよい又は、公表すべきと考えている団体が多い、という結果になりました。

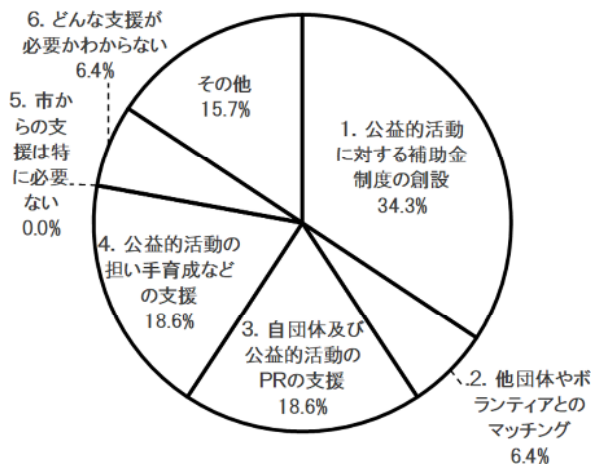
< 3. 調査結果 >

問1 あなたの団体が公益的活動をおこなう中で、悩みや問題と考えていることは何ですか。(3つまで○)

(n=140)

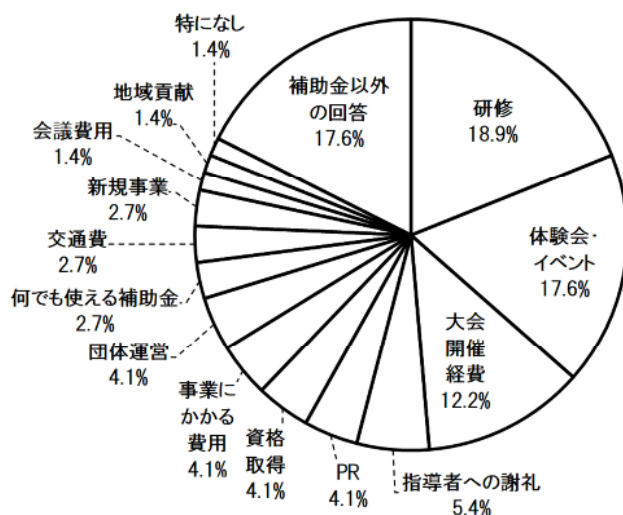


問2 あなたの団体が公益的活動をおこなうにあたって、市からどんな支援があれば活性化したいと思いますか。(1つに○) (n=140)



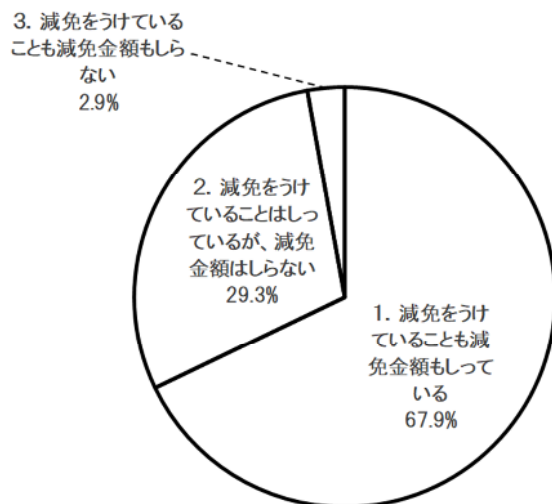
問3 問2で「1. 公益的活動に対する補助金制度の創設」を選んだ方におたずねします。どのような補助金制度があればいいと思いますか？アイデアや希望がありましたら、ご記入ください。

(n=74) ※複数回答した団体あり



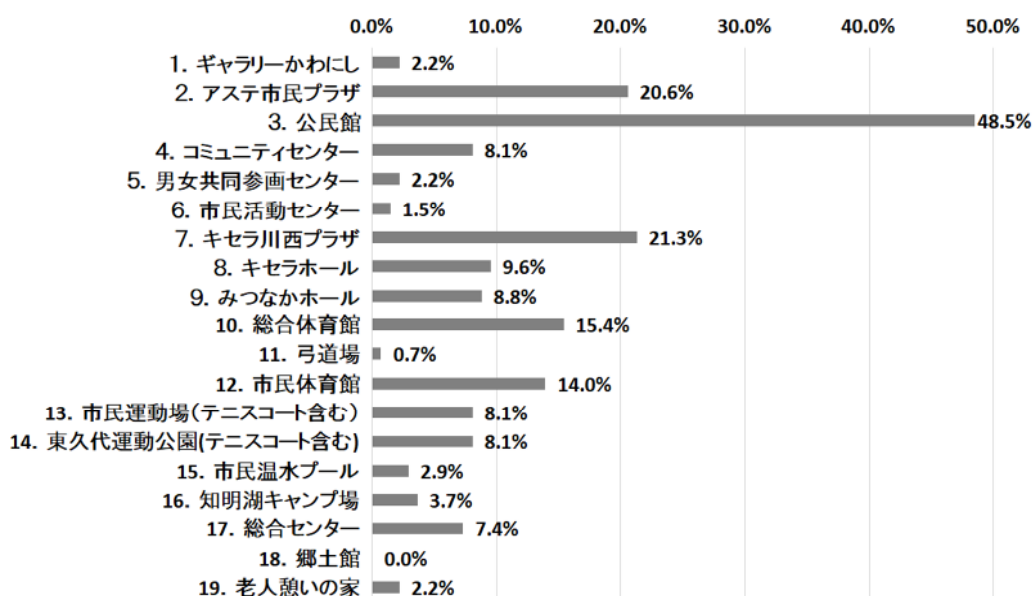
※記述内容を分類しグラフ化

問4 あなたの団体が減免をうけているか、また1年間でいくら減免をうけているかしていますか？
(1つに○) (n=140)



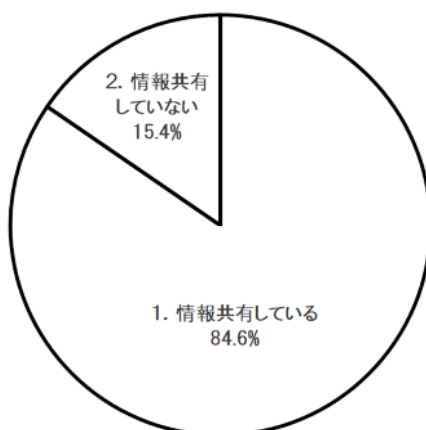
問5 あなたの団体が減免をうけて使っている施設はどこですか？(あてはまるものすべてに○) (n=136)

※問4で「1. 減免をうけていることも減免金額もしている」又は「2. 減免をうけていることはしているが、減免金額は知らない」を選択した方が回答

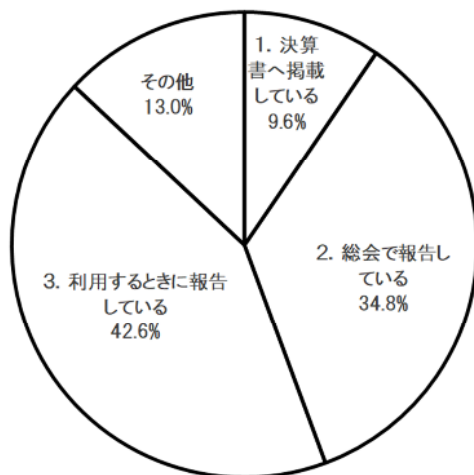


問6 あなたの団体に所属しているメンバーに減免をうけていることを情報共有していますか？
(1つに○) (n=136)

※問4で「1. 減免をうけていることも減免金額もしている」又は「2. 減免をうけていることはしているが、減免金額は知らない」を選択した方が回答

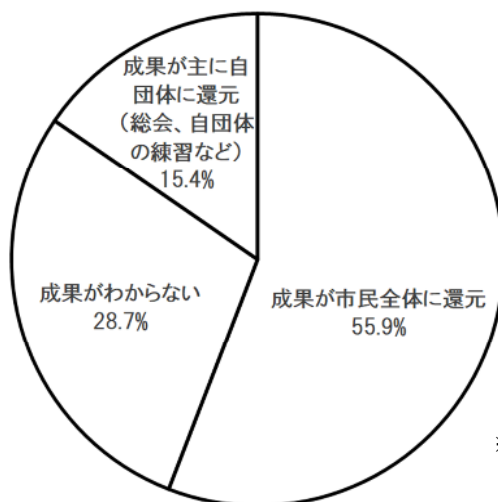


問7 問6で「1. 情報共有している」を選んだ方におたずねします。情報共有はどのようにおこなわれていますか？（1つに○）（n=115）



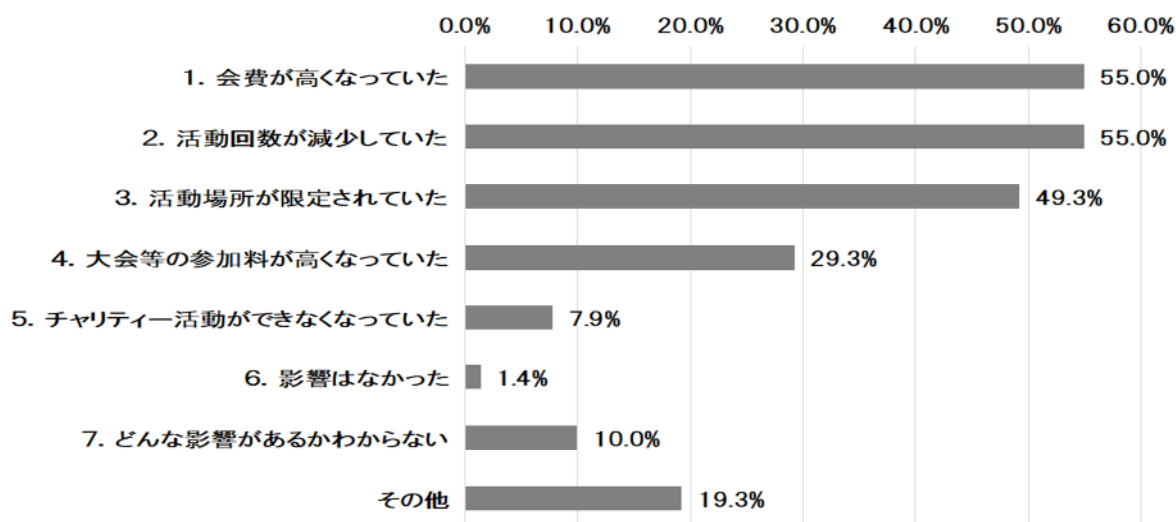
問8 減免をうけてあなたの団体がおこなった公益的活動とその活動を行って市民（参加者）が変化したこと（活動の成果）をご記入ください。（n=136）

※問4で「1. 減免をうけていることも減免金額もしている」又は「2. 減免をうけていることはしているが、減免金額は知らない」を選択した方が回答



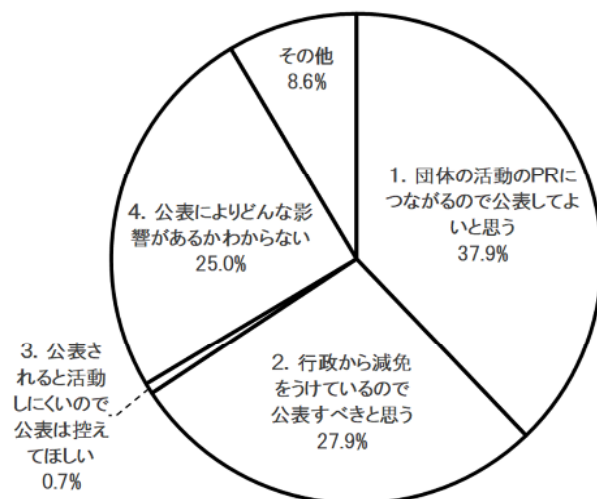
※記述内容を分類しグラフ化

問9 現在の減免制度を市がおこなっていないとしたら、どのような影響があったと考えられますか？（あてはまるものすべてに○）（n=140）



問10 減免を受けた団体名と活動内容、減免額を公表することについて、どう思いますか？

(1つに○) (n=140)




～ 新たな支援策についてぜひご意見をお聞かせください ～

“公益的活動”を支援するための アンケートご協力をお願い

「公益的活動（多くの市民のためになる活動）」の活性化をめざして、
「活動と支援の見える化」に取組み、減免制度から新たな支援策への転換を
検討するためにアンケート調査を実施いたします。

ご回答にあたってのお願い

1. 調査結果は統計的に処理し、他の目的には使用いたしません。
なお、団体が特定できる情報は公表しませんので、率直なご意見をお聞かせください。
2. ご回答は、1 団体 1 回答としてください。
3. ご回答は、インターネットで以下の URL からアクセス
または、2 次元コードを読み取って回答ください。

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1666576268131>
※インターネットでの回答方法で不明な点があれば、担当課までご相談ください。
4. アンケートは、11 月 11 日(金)までに 回答してください。

【アンケート調査に関するお問い合わせ先】

川西市 総合政策部 行革推進課 電話(072)740-1402(直通)

今回アンケートをおこなう趣旨について

市内では、様々な団体が、「多くの市民のためになる活動（公益的活動）」を行っており、地域課題の解決などに貢献しておられます。また、市では補助金の交付をはじめ、多様な手法でその活動を支援しております。

その手法の1つである減免制度とは、一般の利用者よりも低い金額で施設を利用してもらい、多くの市民のためになる活動をおこなう際の経済的な負担を軽減する支援方法です。

このように、減免制度は特例的な制度であるため、なぜ一般の利用者よりも低い金額で利用しているのかということについて、市民の方々に広くお知らせし、理解を得ていくことが大事だと考えています。

しかしながら、減免制度の課題点として、市がどの団体にどのくらい減免し、それによってどのような多くの市民のためになる活動が行われたのかがわかりづらいという点があります。

まず市では、多くの市民のためになる活動について、活動と支援の見える化を行い、減免制度は多くの市民のためになる活動に限定した制度にすることを考えています。

また、減免制度にかわる新たな支援策を検討したいため、皆様からご意見をお聞きし、参考にしたいと考えています。

ご回答は、インターネットで以下の URL からアクセス
または、2次元コードを読み取って回答ください。



<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1666576268131>

<はじめに、あなたの団体のことについておたずねします。>

団体名、記入者名をご記入ください。

団体名	
記入者名	

アンケートは
次のページから
はじまります。

問 1 あなたの団体が公益的活動をおこなう中で、悩みや問題と考えていることは何ですか。
(3つまで○)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動資金がたりない | 2. 新しい会員がふえない |
| 3. 活動場所が少ない | 4. 構成員が高齢化している |
| 5. 他団体との情報交換の機会がない | 6. 公益的活動をPRする手段がない |
| 7. 公益的活動に必要な専門知識を学ぶ機会が少ない | |
| 8. 相談できる相手がいない | 9. 今のところ悩みや問題はない |
| 10. その他 () | |

問 2 あなたの団体が公益的活動をおこなうにあたって、市からどんな支援があれば活性化すると思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--------|
| 1. 公益的活動に対する補助金制度の創設 | →問 3 へ |
| 2. 他団体やボランティアとのマッチング | →問 4 へ |
| 3. 自団体及び公益的活動のPRの支援 | →問 4 へ |
| 4. 公益的活動の担い手育成などの支援 | →問 4 へ |
| 5. 市からの支援は特に必要ない | →問 4 へ |
| 6. どんな支援が必要かわからない | →問 4 へ |
| 7. その他 () | →問 4 へ |

問 3 問2で「1. 公益的活動に対する補助金制度の創設」を選んだ方におたずねします。
どのような補助金制度があればいいと思いますか？アイデアや希望がありましたら、ご記入ください。

例えば…資格や免許など専門知識を習得するための講座・研修に使える補助金
誰でも参加できる親子交流イベントに対する補助金 など

※ない場合は「特になし」とご記入ください。

問 4 あなたの団体が減免をうけているか、また1年間でいくら減免をうけているかしていますか？（1つに○）

「減免制度」とは、一般の利用者よりも低い金額で施設を利用してもらい、多くの市民のためになる活動をおこなう際の経済的な負担を軽減する支援方法です。

（例）特殊詐欺の市民向け講演会で公民館を利用…5割減免

このように減免制度は特例的な制度であるため、団体の活動内容と減免額について広く市民にお知らせし、理解を得ていくことが大切だと考えています。

- 1. 減免をうけていることも減免金額も知っている →問5へ
- 2. 減免をうけていることは知っているが、減免金額は知らない →問5へ
- 3. 減免をうけていることも減免金額もしらない →問9へ

問 5 あなたの団体が減免をうけて使っている施設はどこですか？
（あてはまるものすべてに○）

- 1. ギャラリーかわにし
- 2. アステ市民プラザ
- 3. 公民館
- 4. コミュニティセンター
- 5. 男女共同参画センター
- 6. 市民活動センター
- 7. キセラ川西プラザ
- 8. キセラホール
- 9. みつなかホール
- 10. 総合体育館
- 11. 弓道場
- 12. 市民体育館
- 13. 市民運動場（テニスコート含む）
- 14. 東久代運動公園（テニスコート含む）
- 15. 市民温水プール
- 16. 知明湖キャンプ場
- 17. 総合センター
- 18. 郷土館
- 19. 老人憩いの家

問 6 あなたの団体に所属しているメンバーに減免をうけていることを情報共有していますか？（1つに○）

- 1. 情報共有している →問7へ
- 2. 情報共有していない →問8へ

